

この本の特色と使い方

みなさんは、高校生になって習うようになった国語の文章が、これまで習ってきたものに比べて難しくなったと感じていませんか？ 大学入試の問題文になると、難度はさらに上がります。その一因は、そこで使われていることば（語彙）の難しさにあります。

難しいことばの中には、いわゆる外来語もあります。しかし、多くは漢字が組み合わさった熟語です。それらの意味を適切に理解するためには、一つ一つの漢字の意味をきちんと把握することが重要です。

また、漢字には、一つの文字がいろいろなことばに用いられるという特徴もあります。たとえば、「**駆**」は、「**駆け**」「**駆り立てる**」といった訓読みで用いられるほか、「**先**」「**駆逐**」「**駆除**」「**駆使**」などの音読み熟語でも使われます。「**駆**」一字の意味をきちんと把握することは、多くのことばの意味を適切に理解することにつながるのです。

くり返し読んでみてください。そのことばの意味や使い方が、自然と身につくはずですよ。

また、下段には、それぞれのことばを構成する漢字の意味をわかりやすく説明しつつ、それらの漢字を含む他の使用例も掲載した、**学習が広がる豊富な解説**を付してあります。書いてあることを全部、覚える必要はありません。気になるところを適宜、拾い読みするだけでも、漢字や語彙についての理解が深まるでしょう。

漢字編の第1・2章は、**漢字の意味が理解しやすい、漢和辞典形式の構成**としました。問題を漢字ごとにまとめ、本来の意味（原義）から後になって生じた意味（派生義）へと流れをたどることで、総合的な理解が容易になるように配慮してあります。また、第3章では、同訓異字や形の似ている漢字、読み間違えやすい漢字など、**間違えやすい漢字を集中して学習**できるようにしました。

語彙編では、まず第4章で、抽象的な意味を持つ熟語や、

つまり、難しいことばを理解し、それを自分でも適切に用いることができるようになるためには、漢字の学習がとても効率的なのです。この本は、高校までに学習することになっている、いわゆる常用漢字を理解することを根本に置きつつ、それを踏まえて語彙力を育てることを目指す、画期的な漢字ドリルです。

この本は、**漢字編・語彙編の二部から構成**されています。漢字編では、大学入試問題を分析するなどして精選した最重要漢字を取り上げ、語彙編では、意味や用法に注意すべき熟語や慣用的な表現などを幅広く収録しています。

それぞれの問題を作成するにあたっては、実際にそのことばが用いられる文脈が十分に伝わるような、**わかりやすくいいいな問題文**となるように心がけました。知らないことばに出会ったら、問題文をまるごと暗記するぐらい、

熟語の比喩的な用法にスポットを当てました。こういった**意味の把握が難しい語彙は、複数の問題で攻略**するのが有効です。そこで、それぞれに複数の問題文を示し、それらに接することでより実践的な意味の理解が可能になるようにしました。また、第5章には、合わせて覚えるとより効果的な**同音異義語と対義語をまとめて収録**し、効率的に学習ができるように配慮してあります。

最後の第6章では、語彙力アップには欠かせない、慣用表現を取り上げています。いわゆる慣用句や故事成語・四字熟語はもちろんです。国語辞典やことわざ辞典などの項目にはあまり立てられないものの中にも、知っておきたい表現はたくさんあります。それらも含めて**慣用的な表現を幅広くカバー**しました。

豊かな語彙力は、社会で生きていくのに必要な力です。この本がみなさんの漢字に対する理解を深め、豊かな語彙力を育てる一助になることを願っています。